

# 徳川時代後期出雲歌壇と國學

中澤 伸弘著

国学研究叢書第21編

## 近世後期の出雲大社・千家国造家を 中心とする文学活動を描く

千家俊信により出雲に伝えられた本居国学は、その後出雲大社・千家国造家を中心に明治初年までに大きく開花した。

本書はその実態について歌学びを中心に分析し、はじめて出雲歌壇の存在を示した。近世後期歌壇・国学の研究に必備の書。



### 著者略歴

中澤 伸弘(なかざわ のぶひろ)  
昭和三十七年東京生まれ、國學院  
大學文学部文学科卒、そのち都  
立高校教諭勤続二十余年、教科は  
国語科、現在都立足立高校に在職、  
その間國學院大學文学部神道学科  
兼任講師、同大學日本文化研究所  
共同研究員など歴任、専攻は国語  
教育(古典分野)、国学史日本文  
化及び思想史、書誌学などに及ぶ、  
柿之舎(かきのや)と号す。

### 目次

- 第一章 出雲和歌史と千家俊信  
一、出雲の和歌と国学の導入  
二、千家俊信『延喜式祝詞古訓』について
- 第二章 出雲歌壇の成立と展開  
一、千家尊孫と『類題八雲集』  
二、出雲歌壇をめぐる歌書と人物  
資料、『類題八雲集』作者姓名録
- 第三章 千家尊澄と国学  
一、千家尊澄の著作解題  
二、千家尊澄をめぐる人々
- 第四章 富永芳久と出版活動  
一、富永芳久宛河内屋茂兵衛書簡の一考察  
二、富永芳久と出版書肆(紀州と京都)
- 第五章 地方の国学者から見た出雲歌壇  
一、森爲泰と三河の村上忠順  
資料、松江歌人関係資料(森爲泰書状 村上忠順宛)  
二、森爲泰と若山の長澤伴雄、西田惟恒  
三、紀州の本居豊頼と出雲

定価3,360円(税込)〔本体3,200円〕  
造本・体裁 B6判・上製・カバー装・324頁  
発行日 平成19年10月17日  
ISBN978-4-7646-0278-6

錦正社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544-6  
電話03-5261-2891 FAX03-5261-2892 URL <http://www.kinseisha.jp/>

注文書	注文数	冊	中澤 伸弘著 徳川時代後期出雲歌壇と國學	定価：本体3,200円(税別) 発売：錦正社 ISBN978-4-7646-0278-6
	お名前			
	ご住所	〒		
	お電話			